

2019 年 幌延サマーキャンプ参加報告 8/3～4

第23回サマーキャンプが幌延町と豊富町にて行われ、ワーカーズ連絡協議会からは2名が参加しました。生活クラブグループ3者（ワーカーズ・コレクティブ、生活クラブ、市民ネットワーク）は幌延町長に、速やかに高レベル放射性廃棄物の地層処分研究を終了し、施設解体と埋戻しを実行するよう申し入れを行いました。

また、2019 年の夏の核のゴミを考える全国交流会が主催する「20 年で止めよう」のシンポジウムでは、「幌延と私」というテーマで生活クラブとして活動報告をしました。キャンプ前日の2日に発表された、2020 年度以降の幌延深地層研究計画(案)の 2028 年度までの延長について、当初 20 年程度

としていた計画の約束違反であるとして、幌延深地層研究センターへ抗議を行いました。

原発から出る使用済み核燃料を再処理した後の高レベル放射性廃棄物の処分は、深地層処分を前提に進められていますが、2017 年に国が示した「科学的特性マップ」を見ても、果たして日本のどこに処理・処分の適性地があるのか、と考えます。未来の子どもたちに放射能で汚染されない環境を残すためにも、責任ある処分の在り方を求めています。（報告：理事 嶋 明美）



参加無料

2019 年度 起業講座のお知らせ

開業に向けた会計の基礎知識・事業計画

何か始めたいと思っている女性のために、ワーカーズ・コレクティブの働き方や事業事例・設立の方法などを学びながら、仮想の事業計画を立てて数字にすることで、やりたいことが形になっていく体験をします。

11月27日(水) 10:00～16:00

札幌エルプラザ 大研修室（札幌市北区北8西3）

講師：瀧谷 和隆 さん（税理士）

ワーカーズ講座

①「子育てを地域で支え合いたい」

10月25日(金) 10:00～12:00
札幌エルプラザ 2階 多目的室

②「ちょっと困ったを助けよう」

10月30日(水) 10:00～12:00
小樽市勤労女性センター（小樽市花園2丁目10-18）

③「あったらいいな ～ワーカーズ！」

11月8日(金) 10:00～14:00
南区民センター（札幌市南区真駒内幸町 2- 1）

申込み

(N)北海道ワーカーズ・コレクティブ連絡協議会

起業カフェへ どうぞ!

申込み
不要

ワーカーズ・コレクティブの事業や起業の方法について知りたい方のために、カフェを開催しています。気軽に立ち寄りください。

日時 10/31・11/28・12/19

木曜日 14:00～16:00

会場 北海道ワーカーズ・コレクティブ連絡協議会

■発行 / 特定非営利活動法人 北海道ワーカーズ・コレクティブ連絡協議会

〒060-0041 札幌市中央区大通東2丁目15-1 サラサビル4階 A号室

☎ 011-596-0650 FAX 011-596-0651

Email wco28@athena.ocn.ne.jp

http://hokkaido-workers.org

■発行責任 / 大熊 薫 編集責任 / 理事会 制作 / ブランズEPO

■年4回発行 年間購読料 / 1000 円

ミニ フォーラム ～ 地域で介護を考える ～ 認知症の方と共に

高齢になっても地域で安心して暮らしていくためには、地域のつながりが大きな力になります。高齢社会白書によると、2025 年には高齢者の5人に1人が認知症と言われています。誰もが身近な話題として、「札幌認知症のひとと家族の会」の副会長を講師に、ともに地域で暮らしていくことを考える機会にします。

日時 10月19日(土) 14:00～16:00

場所 ちえりあ 2階 大研修室（札幌市西区宮の沢1-10）

主催 北海道たすけあいワーカーズ

申込 TEL/FAX 011-896-6754 担当：井端

参加無料 /



おもちゃフォーラム2019

木の砂場や選りすぐりのおもちゃを揃えています

◆10/22(祝・火) 江別市大麻公民館えぼあギャラリー

◆10/30(水) 生活クラブ館・北広島

◆11/23(祝・土) すみかわ地区センター(予定)

◆11/27(水) 樽川南第1会館

時間：10:30～15:00 参加費：1人100円（保険代として）

主催・問合せ NPO 法人 北海道子育て支援ワーカーズ
TEL 011-632-5180

プレゼント付き! クイズ

正解者の中から抽選で2名様に、ワーカーズ起業本『小さな起業で楽しく生きる』をプレゼント!



ワーカーズで育つのは、自分と仲間と何でしょう?

① 野菜 ② 組織 ③ 子ども (ヒントはP2-3)

応募方法

FAXまたはメールで、名前・住所・電話番号・クイズの答え・ワーカーズの方は所属名を、下記の北海道ワーカーズ・コレクティブ連絡協議会まで送ってください。締切日は、10月末日。

※前号の答え:「ほっぺ」と「みんなのいえ」

北海道ワーカーズ・コレクティブ連絡協議会は
1986年に設立。34団体約500名が加入しています。

業 種	団体数
食	6
福祉	12
子育て支援	11
業務請負	3
リサイクルと環境雑貨の店	1
企画・編集	1

特定非営利活動法人 北海道ワーカーズ・コレクティブ連絡協議会 機関紙

Wish

【ウイッシュ】

私たちは「ワーカーズ・コレクティブ」で起業しています

ワーカーズ・コレクティブとは、生活者の視点から地域で必要な「もの」や「サービス」を市民事業として事業化し、全員が出資・経営・労働する働き方です。

特集 ワーカーズ・コレクティブの人材育成

自分が育つ・仲間が育つ・組織が育つ

No. 55

2019. 10 [年4回発行]

地域のためにできることで協力したい

interview 鶴谷 聡美 さん

子育て支援ワーカーズ ほっとまむ

北広島市美沢1丁目1-2生活クラブ館・北広島2F

TEL 090-3114-1596 〈2009 年設立・会員6名〉

ほっとまむの設立に携わり、6年にわたって代表を務めた後、現在は市民ネットワーク北海道※の代理人として活動中。ワーカーズ創設時から今に至るまでのお話を聞きました。



上川郡下川町出身。同居している夫の両親に助けられながら活動中。ガーデニング、洗濯が好き。

親子で集まれる場を

多世代が集まる楽しさを感じていたのは、生活クラブ生協で支部活動をしていた頃からでした。私自身が子育てをしていた当時の北広島市輪厚は新興住宅街で、自分の住む地域に親子が気軽に行ける居場所があったらいいなという思いがありました。そんな時、生活クラブの親子ひろば「ほっとたいむ」の2カ所目に支部として手を挙げ、ひろばを開設することになり活動が始まりました。私もサポーター養成講座を受け、ママ友に「よかったら、一緒にひろばでサポーターの活動をしてみたい?」と声をかけ、仲間づくりを進めました。



「年齢や個性に合わせた遊びを工夫しています」

ワーカーズ「ほっとまむ」

その後、札幌市厚別区と北広島市の親子ひろば「ほっとたいむ」を担うワーカーズづくりが始まり、サポーターが中心となって「ほっとまむ」を設立しました。ワーカーズについての知識は漠然としたものでしたが、必要なものを地域につくる事には人は集まるものなんですね。事業としては、親子ひろば委託事業と保育事業の他、市の

ファミリーサポートに無かった産前産後サポートに取り組みました。子育て中のお母さんたちがどのような部分に大変さを感じているかは、ひろばで行ったアンケートを通じて見えていたからです。そうした子育て家庭を支えることが、自分たちの役割だと感じていました。また5年後には、子どもたちが良質なおもちゃに触れたり借りることもできる「トイ・ライブラリー もくてい」を始めました。現在は、市内にも子育て支援センターや児童会館ができ、前述の産前産後サポートについては新たな施設も開設されました。お母さんたちのニーズを汲みながら、北広島の子育て支援サービスの充実に向けて、草分け的な役割を果たすことができたのかなと思っています。

そして代理人として

ほっとまむを設立して6年後、市民ネットワークの代理人としての活動が始まりました。今では、ひろばのスタッフとしてそこにいる時でも、声をかけられる話題は子育ての悩みより、道路や学校給食など生活に関わる相談が多いんですよ。自分の役割が広がったことを実感します。

議会という活動の場はひとつ増えましたが「地域をより良くしたい」という基本の思いはそのままです。現場で直接聞ける当事者からの声を、説得力のある意見や提言として議会に届けながら、今後も行政サービスの充実を考えていきたいです。【取材 / 大内・綿谷】

※市民ネットワーク北海道 議員を市民の「代理人」と位置づけ、社会の問題を自らの主体性で解決する地域社会をめざし活動している。